JRTU JR九州労組ニュース

No.1
2024 年
7 月 5 日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者　吉田祥司

第３３回定期大会開催

２０２４年度の運動方針を決定

JR九州労組は、7月5日（金）北九州「ステーションホテル小倉」において、第33回定期大会を開催した。

来賓には連合九州ブロック連絡会の吉村淳治事務局長をはじめ、JR連合国会議員懇談会及び 21 世紀の鉄道を考える議員フォーラムに所属する国会議員、労働福祉団体やJR連合、JR九州連合、退職者連絡会など多くの方々に出席をいただいた。また、2025 年実施予定の北九州市議会議員選挙及び大津町議会議員選挙で組織内候補として、立候補を予定している山田大輔氏、山部良二氏に公認証書が授与された。

冒頭、執行部を代表してあいさつに立った吉田祥司中央執行委員長は、激甚化する自然災害や減少による地方の衰退など、多くの課題に対し、協力と連携で未来を切り開いていくことが極めて重要であるとの認識を示し、コロナ禍で傷ついた自信や誇りを今こそ取り戻し、労働組合として組合員に寄り添い、組織の魅力を高めていく必要性を訴え、主要課題4点を提起した。

挨拶する吉田祥司中央執行委員長

議事では18人の代議員による発言で方針が補強され、すべての議案と大会宣言（案）が承認された。集約答弁を行った大久保浩書記長は、安全について人は必ずミスをするものであり、それを踏まえた安全対策が必要であるとの認識を示し、安全衛生委員会の活動についても自分たちの箇所だけでなく、他の箇所の取り組みを参考にして、職場からの安全の確立を訴えた。

また、新たに策定された中期労働政策ビジョンについて中央本部から説明があり、これまでの取り組みの振り返りと新たな将来ビジョンと中期目標が示された。なお、今大会では中央執行委員及び中央本部会計監査員の欠員補充のための役員選挙が実施され、新たに 2 名が選出された。

新任役員）

役職名	氏名	年齢	所属	職場名	専・非
中央執行委員	小野　　健	27	本社支部	営業部販売課	非専従
会計監査員	浦田　秀一	49	博多支部	建設工事部電気課	非専従